

## 平成 28 年度文京区障害者地域自立支援協議会 相談支援専門部会検討内容

### <実施状況>

第 1 回（平成 28 年 6 月 15 日）…平成 28 年度相談支援専門部会について意見交換、平成 28 年度定例会議の運営について、障害者基幹相談支援センターの事業報告及び事業計画 等

### <内容総括>

#### 1. 部会長及び副部会長より

障害のある人が自分らしい生き方をできるように、地域における様々な問題を解決できる場になると良い。そのために、①お互いのことを知る。②安心して発言できる場となるようにアットホームな部会を目指したい。

地域課題を 1 つの事業所で解決していくことは難しい。1 つの事業所で課題を抱え込んで孤立してしまわないようにネットワークを作っていくことが大事だと考えている。

#### 2. 平成 28 年度相談支援専門部会について意見交換

今後の相談支援専門部会の在り方について、委員各々の支援内容を通して意見を頂く。頂いた意見をマインドマップの手法を持ち入り視覚化していく(別紙【資料第 1-1 号イ】参照)。

意見としては大きく分けて、①サービスの不足、②住まいの問題、③本人、家族の高齢化に分けられるような内容が多かった。そのため今後の部会では、この 3 つの問題を中心に議論を進めていきたいと考えている。

#### 3. 平成 28 年度定例会議の運営について

目的は以下の通りで開催予定

- ・サービス等利用計画や相談支援を行う上で必要な情報共有やスキルアップを図る。
- ・事例について、問題解決に寄与できるよう議論を深めていく。
- ・事例や会議内容から出てくる課題についても、一定の整理ができるようにする。
- ・地域の相談支援ネットワークの強化、研修機能、地域の足りない資源を吸い上げて課題を相談支援専門部会へ提言していく。

会議の内容及び目的によっては推薦メンバー所属法人以外にも参加を認める。ただし、個人情報扱う事例検討の回は、構成員のみでの会議とする。

第 1 回実施内容のまとめ(別紙【資料第 1-1 号ウ】参照)

テーマ…「文京区の障害福祉現場における課題の共有 ～パネルディスカッションを通して～」

#### 4. その他

自立支援協議会副会長より。昨年度は事務局の移動に伴い手探り状態で、親会・専門部会・定例会議が分断されていたように感じていたが、今年度は有機的に連動できるよう積極的に行いたいというご意見があった。